

# 富山市立大久保公民館

## ◆事業の目的

近年コンピュータ化している時代の中で、人と関わる必要性が少なくなり親と接することが少なくなっている。この事業を通し、自然の中で体を使う楽しさと植物や生物と触れ合うことで生命の大切さを学び、より良い親子の関係や仲間と親睦を図ることを目的とする。

## ◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
5月27日(日)	親子ふれあい自然体験	猿倉山森林公園	70名
8月20日(月)	親子ふれあい自然学習	大久保ふれあいセンター	20名

## ◆事業の様子

### ☆ 親子ふれあい自然体験 ～親子ウォーク～

事業当日は、天候に恵まれ気持ち良い新緑の中で森林ウォークができました。資料を片手にただ歩くだけではなく、ゲームを取り入れることで親子の親睦と周りを見渡すことで遠くの木々も観察することができた。目隠しをして木を触る「私の木ゲーム」では、木の感触を懐かしく思う親御さんもおられ、忙しい社会の中で忘れていた「自然の楽しさ」を思い出す事が出来ました。



### ☆ 親子ふれあい自然学習 ～藍染め～

藍の種をプランターで育て、成長した葉を摘み取り染めだしをする。という企画でしたが、夏の暑さで思うように成長せず、講師が育てた藍の葉を頂き染めだししました。白のシルクのハンカチに豆やビー玉を輪ゴムでくくり模様を作ります。茹でた葉の中に入れて揉みこむ作業は、「どんな模様になるのか楽しみ」とわくわくしました。同時にたまねぎの染めだしもしましたが、きれいな黄色になり藍色のハンカチと黄色のハンカチに仕上がりました。



## ◆事業の成果と課題

親子一緒に楽しみながら学べる自然観察「親子ウォーク」では、ゲームを取り入れ視野を広げることによって「足元ばかり見て歩く」ではなく、遠くの木々や珍しい草木を観察することや、直接木に触れることで子供のころ木に登って遊んだ事を思い出される親御さんもおられ親子共にとても充実した内容になりました。また、草木染めでは、プランターに種から栽培し葉を摘みとる予定でしたが、夏の暑さで成長が遅く小さな葉でした。しかし、よく揉みこみ布に染込ませるときれいな藍色の色のハンカチになり、親子で制作した楽しさは良い親睦の場になりました。ただ、植物は気候によるので育てる楽しさの反面、思いの成長に仕上げる難しさがあります。